

2020年2月20日版

# Society 5.0

## 世界向け発信事業



# 1 . 開催目的

- 第5期科学技術基本計画の最終年度として、我が国が目指す、科学技術・イノベーションによる2030年頃の未来社会の姿である「Society 5.0」について、目に見える形でアピール。
- 「Society 5.0」の実現に資する我が国の有する最先端かつ独創的な科学技術を集結した、未来社会を体感できる展示会を開催。
- 本年夏季に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、海外も含めて多くのメディア・観光客が東京に集結。この機会をとらえ、国内外に広く情報発信。

## 【参考】

### Ⅰ 「第5期科学技術基本計画」(平成28年1月22日閣議決定)

#### 第2章(2)世界に先駆けた「超スマート社会」の実現(Society 5.0)

人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく。

#### 第3章 経済・社会課題への対応

本基本計画の最終年度である2020年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「大会」という。)の開催年であり、大会を、国内外に我が国の科学技術イノベーションの成果を発信するショーケースとして活用するとともに、我が国産業の世界展開や海外企業の対日投資等を喚起し、2020年度以降も我が国全体で経済の好循環を引き起こす絶好の機会として位置付ける。

【 名 称 】 「(仮)Vista of future technologies for SOCIETY 5.0 from SKY TREE  
～ ソサエティ5.0への未来技術展@スカイツリー ～ 」

【 開催日程 】 2020年7月15日(水)～29日(水)\* (予定)

【 開催時間 】 10:00～18:00 (予定)

【 会 場 】 東京スカイツリータウン エリア\*

【 主 催 】 内閣府

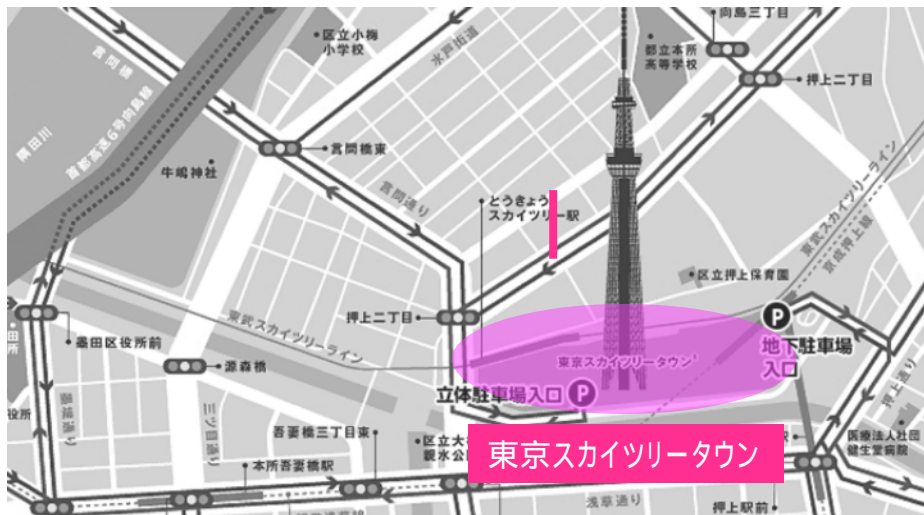
【 入 場 料 】 無料

【 搬入設営期間 】 2020年7月10日(金)から13日(月)まで (予定)  
(7月14日(火) : 運営リハーサルの予定)

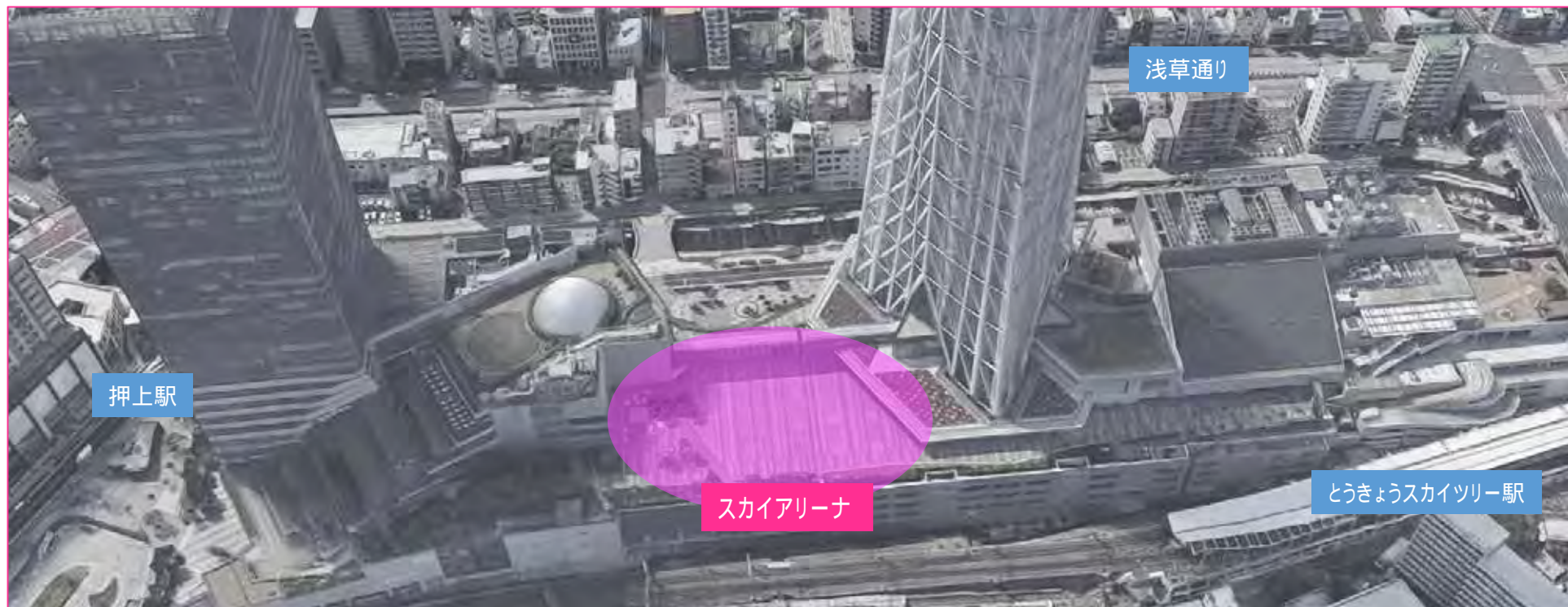
【 搬出期間 】 2020年7月29日(水)の閉場後、30日(木)まで (予定)

\* ) スカイツリー第2展望台でのSociety 5.0関連の展示等は、9月6日頃まで実施予定

# 3 . 会場概要

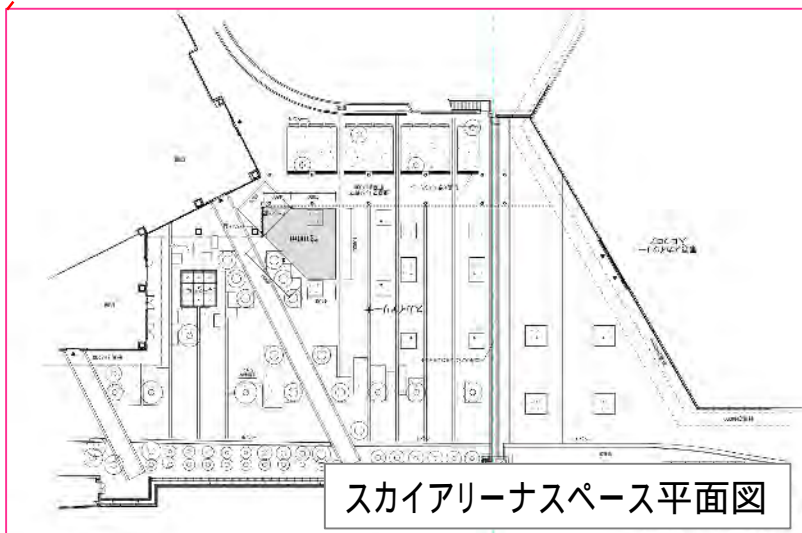
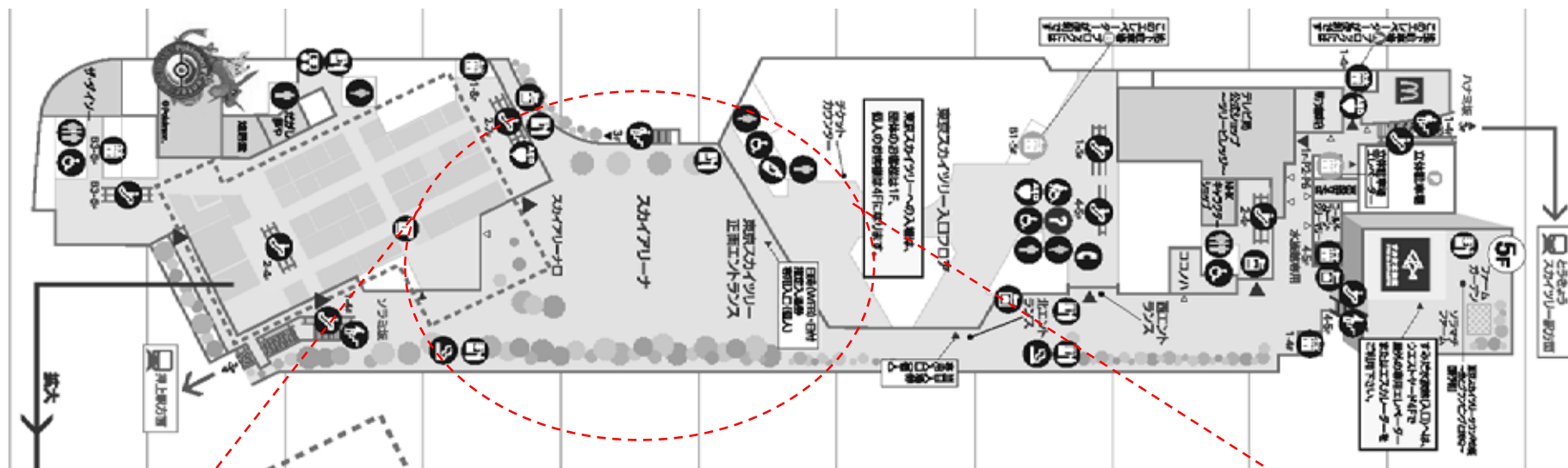


東京スカイツリータウン外観



# 3 . 会場概要

展示会場図 (4F スカイアリーナ)



スカイアリーナ【1,800m<sup>2</sup>】  
3,000名参加可能空間

# 3 . 会場概要

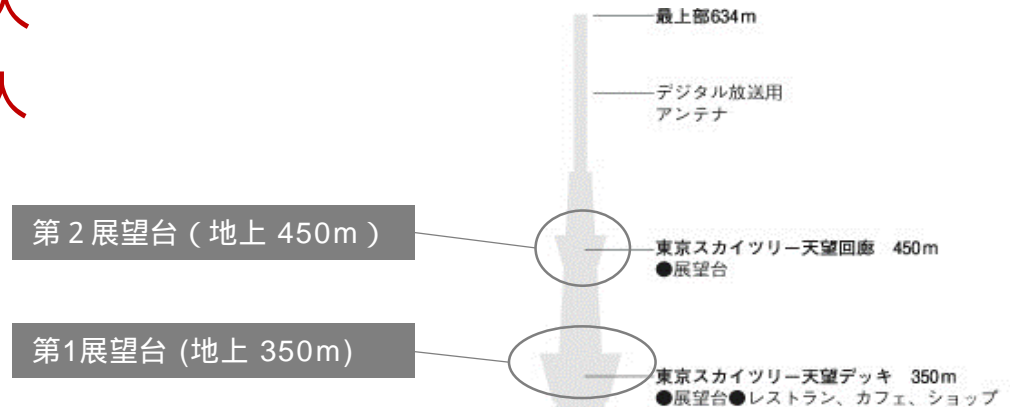
## 来場者数見込み

n来場者数 見込み (期間中)

約 **25万人**

うち外国人 ( 3割 ) 約 **8万人**

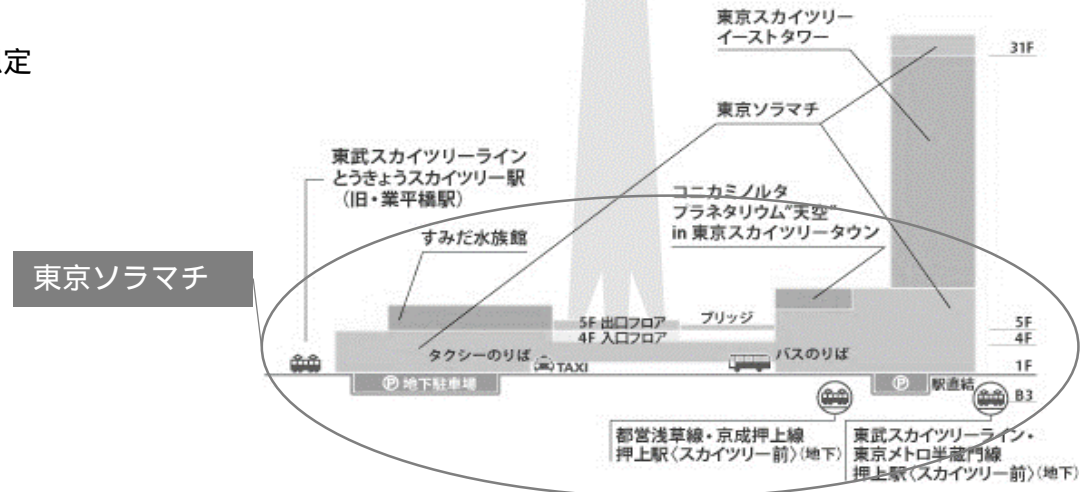
スカイツリーの来場者と  
同程度の人数が本事業の来場者と想定



下記の東京ソラマチの7月来場者数のうち、  
15日分に相当する約130万人の内、約2割りを本事業の来場者数と想定

	東京 ソラマチ	スカイツリー	
		うち 外国人	
2019年7月	258万人	28万人	10万人

出典：東武タワースカイツリー株式会社、東武タウンソラマチ株式会社



<東京スカイツリータウンゾーニング図>



◀ 東京スカイツリータウンは**2駅と直結**しており交通至便です。(スカイツリータウンHPより)

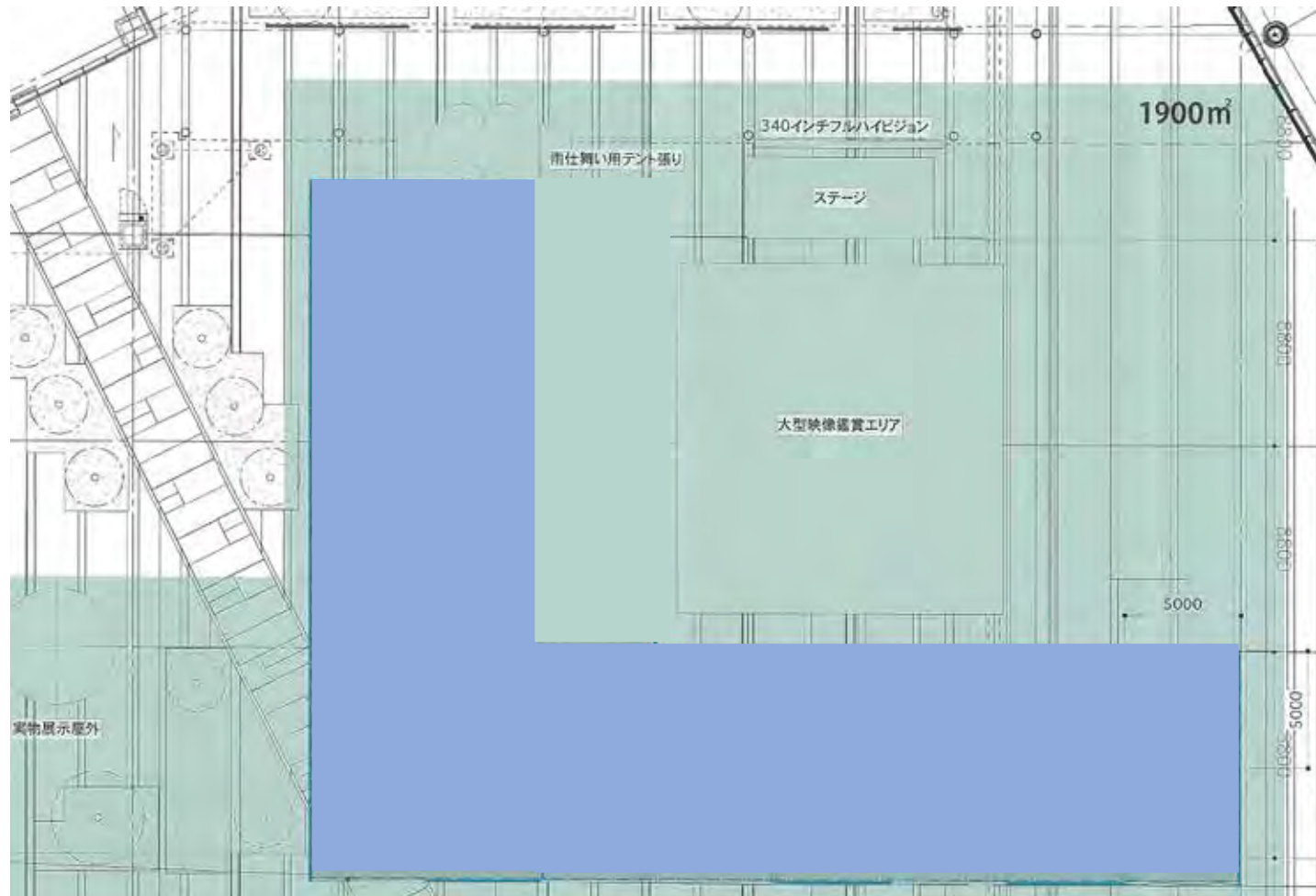
▶ **2020年春**には**浅草と東京スカイツリータウン**を最短ルートで結ぶ**歩道が整備**され、回遊性向上が図られる予定です。(東武鉄道HPより)



# 4 . 展示仕様

【4F スカイアリーナ】 ・屋外に仮設の建屋を設置し、展示スペースを構築

・500㎡をSIP等の政府系の研究開発案件を中心に展示予定



仮設建屋外観（イメージ）



仮設建屋内部（イメージ）

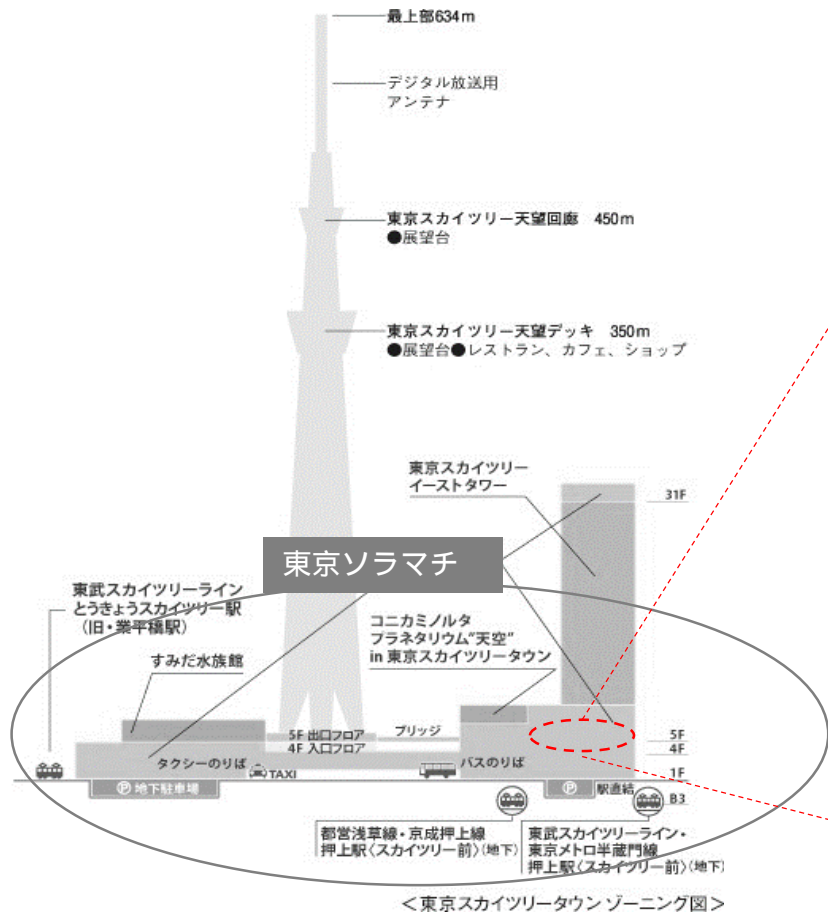
スカイアリーナにおける政府系の展示内容は検討中



# 4 . 展示仕様

## 【5Fスペース634】

・今回の事業の主旨に沿う企業等の展示を予定



展示スペースのイメージは別図参照（詳細は、提案内容を踏まえて決定する予定）  
出展企業等が多数の場合には、駐車場を展示スペースとして活用することも検討

## 魅力あふれる東京スカイツリータウンからの情報発信

- 想定期間中に500万人の訪問者を有する施設（昨年度実績）
- 隅田川、浅草などの観光地に至近で、国内外からあらゆる年齢層の方々の訪問
- 充実した公共交通機関が立地（羽田空港/成田空港/浅草/大手町/銀座/品川/渋谷/日光・鬼怒川等と鉄道が直結）

## 地元自治体との連携・協力体制を確保

- 地元自治体による広報やイベント等を実現
- 地域の方々が主催するイベント等とも連携することによるおもてなし催事を実施予定

## 全世界への情報発信

- 期間中の来場者見込み：約100万人（多くが、家族連れの一般の方々。また、約30万人が外国人）
- 世界各国から約3万人のメディア関係者の来日も見込まれている。
- こうした来訪者に直接情報発信できる機会を確保
- 英語によるプレスリリースやイベント等を予定

## 国・研究機関・民間企業による一体展示

- 様々な主体による多様な展示により、未来像を産官学で一体的に実現しようとする姿を演出
- 老若男女、国内外を問わず、あらゆる対象者を引き付ける、魅力ある展示を実現

## 「Society 5.0」で実現する未来社会のイメージを発信

- 「快適な暮らし」、「活力に満ちた暮らし」、「質の高い暮らし」等の未来社会像ごとにゾーニングし、くらしに関する技術を分かりやすく展示

\*ゾーニングは出展内容に応じて柔軟に編成予定

## 内閣府による積極的な広報活動の展開

- 内閣府のホームページや政府広報（テレビ、ラジオ、新聞等）等による情報発信を予定
- 総合科学技術・イノベーション会議（議長：内閣総理大臣）における情報展開を実施

「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会」= 2030年頃の未来社会である「Society 5.0」の実現に資する科学技術・イノベーションに関する**実機、映像、パネル等**

- ü 第1期及び第2期「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」、「革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）」等で開発したもの、開発中のもの
- ü 国立研究開発法人、国、民間企業等で開発、保有しているもの 等

- u Web・SNSの開設、ポスター・チラシの設置・配布等による多角的に広報展開を推進
- u 本事業のロゴ・キャッチフレーズ等による一体感のある展示を企画
- u 国、地方公共団体、民間企業の一体による実施体制を構築
- u メディア、VIP等の視察ツアーの実施を企画



# 8 . スケジュール ( 予定 )

2月20日(木)	: 出展者の公募開始
3月11日(水)	: 出展者の一次募集締切
3月23日(月)	: 出展者の二次募集締切
3月中	: 出展場所の調整・決定(地割)
4月	: 「実行協議会」 <sup>1</sup> の設立
5月	: Webによる広報を開始
6月下旬	: ポスター、パンフレット等の設置
7月10日(金)～13日(月)	: 出展物の搬入設営期間
7月14日(火)	: 運営リハーサル
7月15日(水)	: オープニング
7月29日(水)	: クロージング <sup>2</sup>
開催最終日から2日間程度	: 搬出

1 「実行協議会」において、展示コンセプト等の詳細を調整していく予定

2 第2展望台でのSociety 5.0関連の映像展示等は、9月6日頃まで実施予定